

PICTURE COMMUNICATION SYSTEM; FACSIMILE EQUIPMENT AND COMPUTER SYSTEM USED FOR THIS

Publication number: JP10133967

Publication date: 1998-05-22

Inventor: HOSODA SATOSHI

Applicant: SANYO ELECTRIC CO

Classification:

- **international:** G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M1/274; H04M11/00; H04N1/32; G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M1/274; H04M11/00; H04N1/32; (IPC1-7); G06F13/00; G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M1/274; H04M11/00; H04N1/32

- **European:**

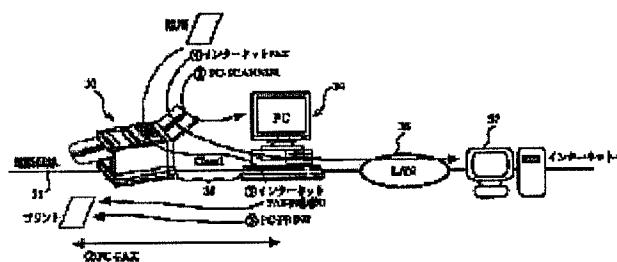
Application number: JP19960286860 19961029

Priority number(s): JP19960286860 19961029

[Report a data error here](#)

Abstract of JP10133967

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a picture communication system eliminating bad conditions being the increase of the size of the operation panel part of a facsimile equipment, the complication of operation or the increase of a memory capacity. **SOLUTION:** The facsimile equipment to be connected with a telephone line 31 and the computer system 34 to be connected with internet are connected through a communication line 35 and picture data read by the facsimile equipment 32 is given to the computer system 34 through the communication line 35 to convert the picture data to an electronic mail by the computer system 34 to transmit to an opposite party through the internet, in the picture communication system. The facsimile equipment 32, at the time of transmitting through the internet, transmits an abbreviated transmission address showing the internet address of the other side to the computer system 34, which reads the internet address from a storing means based on the abbreviated transmission address to set the internet address of the transmitting destination.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-133967

(43)公開日 平成10年(1998)5月22日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I	
G 06 F 13/00	351	G 06 F 13/00	351B
	353		353D
H 04 L 12/54		H 04 M 1/274	
12/58		11/00	303
H 04 M 1/274		H 04 N 1/32	Z
	審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 11 頁) 最終頁に続く		

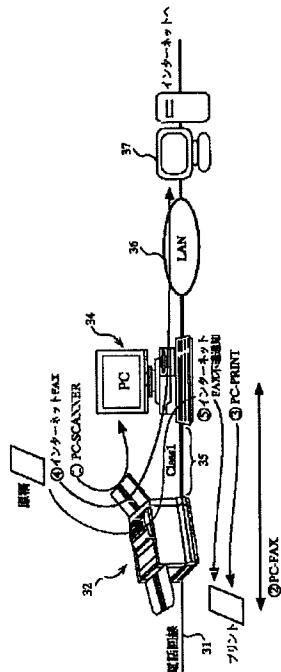
(21)出願番号	特願平8-286860	(71)出願人	000001889 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号
(22)出願日	平成8年(1996)10月29日	(72)発明者	細田 聰 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三 洋電機株式会社内
		(74)代理人	弁理士 烏居 洋

(54)【発明の名称】 画像通信システム並びにこれに用いられるファクシミリ装置及びコンピュータ装置

(57)【要約】

【課題】 ファクシミリ装置の操作パネル部の大型化や操作の複雑化あるいはメモリ容量の増大といった不具合を解消できる画像通信システムを提供する。

【解決手段】 電話回線31に接続されるファクシミリ装置32とインターネットに接続されるコンピュータ装置34とが通信路35を介して接続されて成り、前記ファクシミリ装置32で読み取った画像データを前記通信路35を介して前記コンピュータ装置34に与え、このコンピュータ装置34にて前記画像データを電子メールに変換し、前記インターネット経由で相手先に送信するようにした画像通信システムであって、前記ファクシミリ装置32は、前記インターネットによる送信を行うときに相手先のインターネットアドレスを示す短縮送信アドレスを前記コンピュータ装置34に送信し、前記コンピュータ装置34は、前記短縮送信アドレスに基づいて記憶手段からインターネットアドレスを読み出し、送信先のインターネットアドレスを設定する。



【請求項12】 10) 機器送信した際に用いた複数の記載のうちの一つを含む。

【請求項10】 相手先への送信が実行されたときに、
該送信を記録する手段とする装置。

2015-1-6 11:55:51 版權所有: 香港中文大學

「前記書類の用紙は、本件の書類と同一の用紙である。」と記載してある。

1944年6月11日
于三合庄

【請求書4】 相手先への送信効果実行にて参考効力の範囲の
情報範囲口述上で一歩踏み効力要件が取扱い規合法、不満通
知の印字部記述作成方法にて効力の範囲にて該當上
本請求書は上記の効力要件に該當する旨を記載する。

【請求事項3】 期間短縮請求権⁷に基づく自己の権利回復請求権⁸。

日本轉印半導體用IC送信装置の構造とその動作

【請求項2】請求項1の画像通信端子Aに用いられる。

以下は、本研究で用いた手法とその特徴を示す。手法は、手筋を出力する手法と、送信先の手筋を予測する手法の2つである。

【清書原1】回國以後總共耽擱了九年之久，才到日本，並在那裡逗留了一年半。

【特許請求の範囲】

信アドレスがインターネットアドレスの場合はこのコンピュータ装置にて前記画像データを電子メールに変換し、前記インターネット経由で相手先に送信し、短縮送信アドレスがファクシミリ番号の場合はファクシミリ装置をモ뎀としてファクシミリ送信するようにした画像通信システムであって、

前記ファクシミリ装置には、前記コンピュータ装置を用いる送信を行うときに相手先のインターネットアドレス又はファクシミリ番号を示す短縮送信アドレスを前記コンピュータ装置に送信する手段が備えられており、前記コンピュータ装置には、前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を入力するための入力手段と、前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を前記短縮送信アドレスに対応させて記憶する記憶手段と、前記ファクシミリ装置から送信されてきた前記短縮送信アドレスに基づいて前記記憶手段からインターネットアドレス又はファクシミリ番号を読み出し、送信先を設定する手段とが備えられていることを特徴とする画像通信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを利用して原稿の送受信が行える画像通信システム並びにこれに用いられるファクシミリ装置及びコンピュータ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】ファクシミリ装置は、電話回線等を用いて文書情報を電気的に遠隔地に伝達する手段であり、デジタルスキャナー等を用いて原稿情報を読み取り、符号化圧縮処理して送信することを基本構成としている。しかし、近年では、パーソナルコンピュータやワードプロセッサ等のコンピュータ装置で作成した文書情報を直接ファクシミリ送信するためのファクシミリボード等が開発され、これらコンピュータ装置、ファクシミリボード、及びファクシミリ装置間のインターフェースが標準化されてきている（EIA規格 Class 1, 2等）。それに伴って、これら標準インターフェースに準じた汎用ファクシミリ装置アプリケーションソフトウェアが供給されるようになっている。

【0003】図4は、上述のようにファクシミリ装置100とコンピュータ装置101とを接続した状態を示す説明図である。このようなシステムを構築することにより、例えば、以下の①～⑨の機能を得ることが可能となる。

【0004】①スキャナ機能（PC-SCANNER）： ファクシミリ装置100をコンピュータ装置101のスキャナとして利用する機能である。原稿をファクシミリ装置100の原稿読取部にセットし、操作部のスキャナ入力キーを操作すると、ファクシミリ装置100は、原稿を読み取り、Class 1のプロトコルに従

って、読み取った原稿をコンピュータ装置101へ送る。なお、このときのClass 1プロトコルにおけるTSIには自局ファクシミリ番号が組み込まれる。

【0005】②コンピュータファクシミリ機能（PC-FAX）： ファクシミリ装置100をコンピュータ装置101のモ뎀として利用する機能である。公衆回線を介してファクシミリ装置100が受け取った原稿をコンピュータ装置101に取り込んだり、コンピュータ装置101で作成した原稿をファクシミリ装置100を介して公衆回線により遠隔地の相手ファクシミリ装置に送ることができる。なお、このときのClass 1プロトコルにおけるTSIには自局ファクシミリ番号が組み込まれ、CSIには相手ファクシミリ装置の番号が組み込まれる。

【0006】③プリンタ機能（PC-PRINT）： ファクシミリ装置100をコンピュータ装置101のプリンタとして利用する機能である。コンピュータ装置101で原稿を作成し、コンピュータ装置101側からファクシミリ装置100の自局番号をダイヤルする。ファクシミリ装置100は、コンピュータ装置101から送られた番号が自局ファクシミリ番号の場合には、前記原稿を印字部にて印字する。

【0007】一方、近年においては、インターネットを利用した電子メールによる情報の伝達が活用されるようになってきている。インターネットを利用して電子メールを送信するには、パーソナルコンピュータ上でデータ（通信文）を作成し、インターネットソフトウェア（インターネット経由でファイルを送受信するアプリケーションソフト）により送信を行い、また、電子メールを受信するときには、インターネットソフトが起動中であれば、サーバに対して例えば一定時間毎にアクセスが行われてメールの有無がチェックされ、メールがあれば、読み出しソフトを起動させることにより、メールを読み込むことができるようになっている。

【0008】上記インターネットを利用する画像通信は、特に海外等の遠隔地を相手先とする場合に、ファクシミリ通信に比べて低コストで行えることが知られている。その一方、既にプリントアウトされた紙原稿を前記パーソナルコンピュータに読み取せてインターネットを用いて送信する場合には複雑な操作を行わなくてはならないという欠点がある。

【0009】そこで、図5に示すように、公衆回線103に接続されたファクシミリ装置100とLAN（ローカルエリアネットワーク）104及びサーバー105を介してインターネットに接続されたコンピュータ装置101とを通信インターフェース（RS232C上で機能するClass 1など）102により接続するとともに、コンピュータ装置101にファクシミリ原稿データを電子メールに変換する機能を持たせることが考えられる。

（0015）上課的輔導成爲私有化、而「公私合營」的審查則將其一舉兩得。但其實這兩者並非完全對立的關係，而是可以互相配合的。例如課業輔導或教學輔導，就是一個很有效的教學方法。而且，如果能將課業輔導與教學輔導結合起來，則可以達到更好的效果。這就是所謂的「教學輔導」。

〔0013〕この聲明は、上記の事情に鑑みて、以下に於ける
に於ける、以下に於けるに於ける。

行するようになっていてもよい。また、予め登録されている複数の番号の各々について順次送信を行うように構成されており、前記番号がファクシミリ番号であればファクシミリ送信を実行し、前記番号が短縮送信アドレスであれば前記コンピュータ装置を用いる送信を実行するようになっていてもよい。

【0018】また、この発明のコンピュータ装置は、上述した画像通信システムに用いられるコンピュータ装置であって、インターネットアドレスを入力するための入力手段と、前記インターネットアドレスを前記短縮送信アドレスに対応させて記憶する記憶手段と、前記ファクシミリ装置から送信されてきた前記短縮送信アドレスに基づいて前記記憶手段からインターネットアドレスを読み出し、送信先のインターネットアドレスを設定する手段とが備えられていることを特徴とする。

【0019】相手先への送信が実行できなかった場合に、その旨の情報をファクシミリ装置の自局ファクシミリ番号とともにファクシミリ装置に送信するようになっていてもよい。自局ファクシミリ番号が登録されていない場合、ファクシミリ装置から送られてきた短縮送信アドレスが規定に合っていない場合、ファクシミリ装置から送られてきた短縮送信アドレスに対応したインターネットアドレスが登録されていない場合など、不具合が生じたと判断された場合に、警告を発する警告手段を備えていてもよい。一つの短縮送信アドレスに対して複数のインターネットアドレスが登録できるようになっているとともに、前記複数のインターネットアドレスの相手先に順次送信を実行するようになっていてもよい。短縮送信アドレスを通信インターフェースのプロトコルにおけるTSI信号にて受け取るようになっていてもよい。前記短縮送信アドレスに付加された付加情報を検出し、この付加情報が示す要求に従って送信を実行するようになっていてもよい。

【0020】また、この発明の画像通信システムは、回線に接続されるファクシミリ装置とインターネットに接続されるコンピュータ装置とが通信インターフェースを備える通信路を介して接続されて成り、前記ファクシミリ装置で読み取った画像データを前記通信路を介して前記コンピュータ装置に与え、短縮送信アドレスがインターネットアドレスの場合はこのコンピュータ装置にて前記画像データを電子メールに変換し、前記インターネット経由で相手先に送信し、短縮送信アドレスがファクシミリ番号の場合はファクシミリ装置をモードとしてファクシミリ送信するようにした画像通信システムであって、前記ファクシミリ装置には、前記コンピュータ装置を用いる送信を行うときに相手先のインターネットアドレス又はファクシミリ番号を示す短縮送信アドレスを前記コンピュータ装置に送信する手段が備えられており、前記コンピュータ装置には、前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を入力するための入力手段と、

前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を前記短縮送信アドレスに対応させて記憶する記憶手段と、前記ファクシミリ装置から送信されてきた前記短縮送信アドレスに基づいて前記記憶手段からインターネットアドレス又はファクシミリ番号を読み出し、送信先を設定する手段とが備えられていることを特徴とする。

【0021】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図に基づいて説明する。

【0022】図1は、この発明の実施の形態における画像通信システムを示した概略の構成図である。この画像通信システムは、電話回線31に接続されるファクシミリ装置32と、LAN36及びサーバー37を介してインターネットに接続されるコンピュータ装置34とがRS232C(Class1)による通信路35を介して接続されて成るものである。

【0023】図2は、上記のファクシミリ装置32およびコンピュータ装置34の具体的構成を示したブロック図である。ファクシミリ装置32は、ファクシミリの基本的構成部分である原稿読取部1、読み取った原稿データを圧縮(MH, MR, MMR等の方式によるG3データを生成)するデータ圧縮部2、G3データをファイル化して蓄積するG3ファイル部3、G3データを伸長するデータ伸長部4、伸長された原稿データを印字するプリンタ部5、送受信データの変復調を行うFAXモデム6、公衆回線に接続されたNCU(網制御ユニット)7、所定の内容を表示する表示部8、ユーザーにより操作される操作部9、相手先記憶部10、及び自局ファクシミリ番号記憶部11を備えている。

【0024】前記の操作部9には、テンキーやワンタッチキー等が配備され、また、前記の相手先記憶部10には、前記テンキー(短縮キー)やワンタッチキー等に対応して相手先ファクシミリ番号が記憶(登録)されるようになっているが、さらに、この発明にかかる機能として、短縮送信アドレス(インターネットアドレス自体ではなく、それを示す数値、#や*などの記号、或いは文字からなる)の前記操作部9による入力と前記の相手先記憶部10によるその登録が行えるようになっている。ユーザーにて入力された情報が短縮ファクシミリ番号なのか、それとも短縮送信アドレスなのかは、前記操作部9に設けられている短縮送信アドレス確定キー9aにより指示できるようにしてある。詳細については後述する。

【0025】更に、この発明にかかる構成部分として、ファクシミリ装置32には、アドレス合成部12、TSI信号記憶部13、ファクシミリ番号/短縮送信アドレス判別部14、及びファクシミリ送信/インターネット送信切換部15が備えられている。

【0026】前記のアドレス合成部12は、操作部9のキーにて入力された短縮送信アドレスに前記自局ファク

〔0036〕20指以內之空缺地、表示部82地以2
“细胞送信”以人地不適當事“211次以”一以
本文一多空缺之2821工一空缺生之211次
示以在211工一空缺生之211次以“211次以”一
“细胞送信”以人地不適當事“211次以”一以
本文一多空缺之2821工一空缺生之211次
示以在211工一空缺生之211次以“211次以”一
〔00375〕

〔0034〕東方、二井一枝、797.333)装置32
〔0035〕原露歌取1(送原稿花文小山)、
操作部907.333)送原稿花文小山(大手力
L(大手力7.2)、送原稿花文小山(大手力
L(大手力7.1)、

图307展示了利用人机结合的送信机制印刷作业法，直接由一人完成。图308展示了利用人机结合的送信机制印刷作业法，直接由一人完成。

〔0033〕表2-1. 前記の7カ月の累積32件

れば、表示部8に対して“自局ファクシミリ番号を登録して下さい”といったメッセージ文データを与えるとともにエラー音を発生させるべく図示しないエラー音発生部に信号を与える。そして、受信した送信原稿については、これをファイル変換部16にて電子メールファイルに変換し、ファイル記憶部17に記憶し（ステップ18）、スタンバイ状態に戻る。

【0038】自局ファクシミリ番号が記憶されていれば、T S I 信号の内容（短縮送信アドレス+自局ファクシミリ番号）に前記自局ファクシミリ番号と一致する部分があるか否かを判断する（ステップ9）。一致している部分がなければ前記のステップ18に進む一方、一致している部分があれば短縮送信アドレスが規定に合っているか（例えば、規定では3桁までとなっているのに4桁であるような場合など）否かを判断する（ステップ10）。

【0039】規定に合っていない場合には、表示部8に対して“送信短縮アドレスが不適当です”といったメッセージ文データを与えるとともにエラー音を発生させるべく図示しないエラー音発生部に信号を与える。そして、ステップ19に進む。一方、規定に合っていれば、前記短縮送信アドレスに対応するインターネットアドレスがインターネットアドレス記憶部21に記憶されているか否かを判断する（ステップ11）。記憶されていなければ、表示部8に対して“送信短縮アドレスが登録されていません”といったメッセージ文データを与えるとともにエラー音を発生させるべく図示しないエラー音発生部に信号を与える。そして、ステップ19に進む。

【0040】ステップ19では、受信した送信原稿のファーストページの上端部に“送信できませんでした”という不達メッセージを付加し、自局ファクシミリ番号でダイヤルを行い、C l a s s 1プロトコルに従って、ファクシミリ装置32に送信する。即ち、ファクシミリ装置をプリンタとして機能（③P C - P R I N T）させるときの動作を実行することになる。ファクシミリ装置32は、T S I 信号の内容が自局ファクシミリ番号か否かを判断し（ステップ20）、自局ファクシミリ番号であればプリント部5にて印字を行い（ステップ21）、自局ファクシミリ番号でなければ、その番号の相手先に送信する（ステップ22）。即ち、コンピュータファクシミリ機能（②P C - F A X）を実行する。

【0041】前記のステップ11でインターネットアドレスが登録されていると判断された場合には、ファイル変換部16にて変換された電子メールを電子メールファイル18に蓄積し、前記インターネットアドレスの相手先に電子メールで送信する（ステップ）。

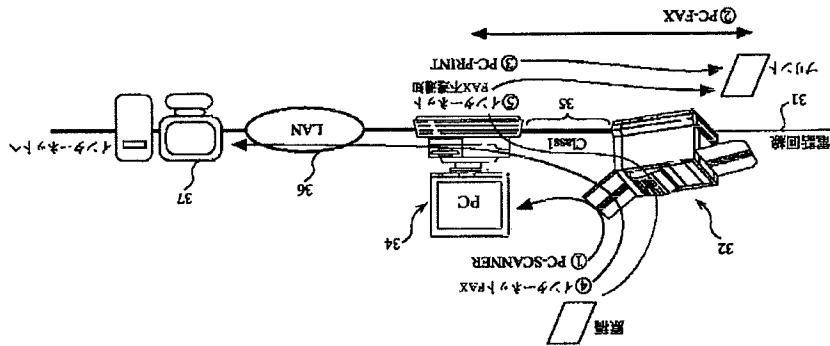
【0042】なお、前記ステップ18において記憶されたファイルは、例えば、ユーザーがコンピュータ装置34においてインターネットソフトを立ち上げ、このコンピュータ装置34上で相手先のインターネットアドレス

を入力し、送信原稿として前記の記憶されているファイルを指定することにより、当該ファイルを所望の相手先に電子メールで送ることが可能である。また、ステップ8とステップ9でNOとされた場合にも不達通知送信のための処理（ステップ19）を行うようにしてもよく、また、ステップ10とステップ11でNOとされた場合にも受信した画像のファイル記憶処理（ステップ18）を行うようにしてもよいものである。

【0043】以上説明したように、ファクシミリ装置32側でインターネットアドレス自体を入力したり、登録したりする必要はなく、インターネットアドレスを示す短縮送信アドレスを入力したり、登録すればよいから、ファクシミリ装置32における操作パネル部の大型化や操作の複雑化、及びメモリ容量の増大といった不具合を解消できる。なお、コンピュータ装置34側ではインターネットアドレスを入力したり或いは登録したりする必要があるが、コンピュータ装置34では既設の機能・資源の活用にすぎないので特に問題はない。また、この実施の形態では、C l a s s 1プロトコルにおけるT S I 信号中に短縮送信アドレスを付加するので、C l a s s 1プロトコルをそのまま用いることができ、新たにプロトコルを作成するためのコストを削減することができる。

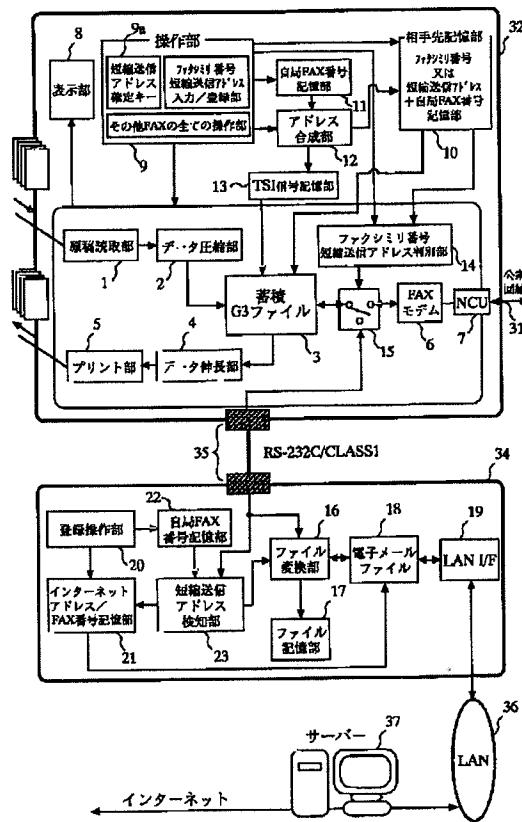
【0044】なお、上記のフローチャートでは、直接キー入力による相手先指定の例を示したが、先にも述べたように、短縮番号やワンタッチキーや電話帳機能などにおいて前記短縮送信アドレス“〇〇〇”を登録しておき、これらの短縮番号等を用いて送信してもよいものである。また、一つの短縮番号等にファクシミリ番号と短縮送信アドレスの両方を登録できるようにすることも可能である。例えば、短縮番号“11”に対して二つの記憶領域を設定しておき、短縮送信アドレス確定キー9aが押された場合には短縮送信アドレスとして認識し、短縮送信アドレス確定キー9aが押されずに例えば通常の確定キーが押された場合にはファクシミリ番号として認識することができる。また、短縮送信アドレスをファクシミリ番号と区別するために短縮送信アドレスに自局ファクシミリ番号を付加するようにしたが、この自局ファクシミリ番号に限らず、“#”“*”や特定の数字或いは文字などを識別用に付加するようにしてもよい。

【0045】また、ファクシミリ通信機能として、同報送信機能やプログラム送信機能が知られているが、これらの機能における複数の相手先として、ファクシミリ通信相手に限らず、インターネットによる相手先を登録できるようにしてもよいものである。この場合、登録されている相手に対して順次送信処理が実行されるが、ファクシミリ通信相手であれば通常のファクシミリ通信処理を実行し、インターネットによる相手先であればその都度コンピュータ装置34と通信して上述したごとく、電子メールによる送信を行うようにすればよい。更に、コ

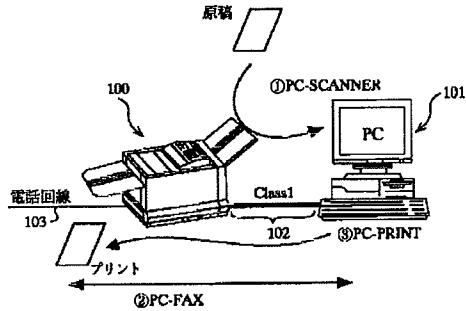


〔15〕

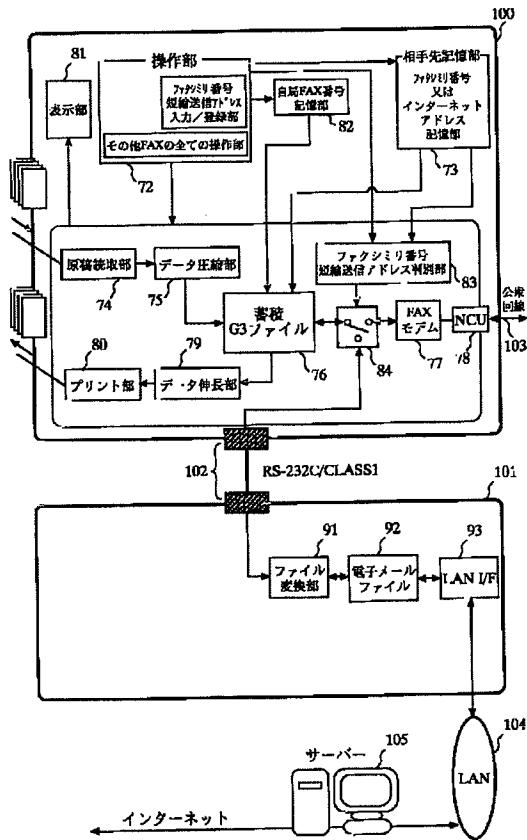
【図2】

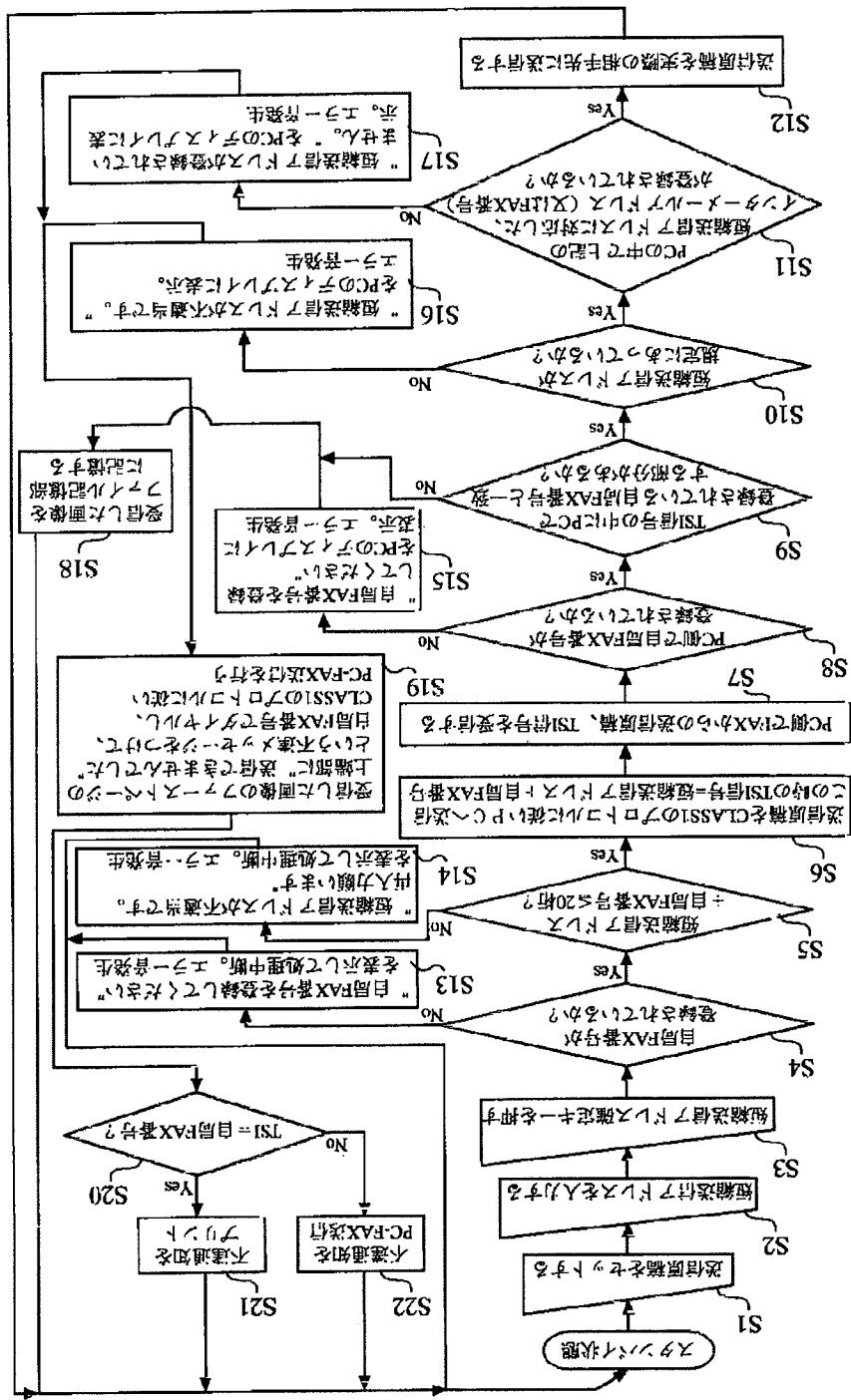


【図4】



【図5】





【图3】

フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	F I	
H 04 M 11/00	303	H 04 L 11/20	101C
H 04 N 1/32			